

<専任教員報告>

2016 年度教員活動報告

鈴木達治郎 教授 (センター長)

I. 教育

- (1) 担当科目： 「被ばくと社会」(責任者)
「科学者の社会的責任」「核不拡散と原子力平和利用」(全学モジュール I 「核兵器のない世界を目指して」) の一部分担

II. 研究

- (1) 主要研究テーマ
- 原子力・エネルギー環境政策
 - 核燃料サイクルと核不拡散問題、多国間管理
 - 核物質管理、核セキュリティ
 - 科学技術の社会的影響評価、科学者の社会的責任
- (2) 著書・論文・学会誌寄稿等
- 鈴木達治郎、猿田佐世編著、「アメリカは原子力政策をどう見ているか」、岩波ブックレットシリーズ、2016年10月。岩波書店。pp.1-63.
 - 富塚明訳、鈴木達治郎監訳、「核なき世界への提言：核物質から見た核軍縮」、法律文化社、2017年3月。RECNA 叢書 2号。
 - Tatsujiro Suzuki, Tatsuo Kobayashi, Hikaru Kobayashi, Kazumasa Iwata, “Aiming at Low Carbon Society in Japan by 2050: Impact of the Fukushima Nuclear Accident and CO2 Reduction Target.” *Economics of Energy and Environmental Policy*, Vol. 5, No.1, (2016), pp. 89-103. (reviewed)
 - Hiromichi Umebayashi, Tatsujiro Suzuki, “A Northeast Asia Nuclear Weapon-Free Zone at the New Stage of the Development in Global Nuclear Disarmament and Non-proliferation,” *Korea Observer*, Vol. 47, No. 4, Winter 2016, pp. 963-976. (invited)
 - 鈴木達治郎、「福島事故から4年半—日本は失敗から学べているか?」、科学技術社会論研究, 第12号、2016年5月、pp.15-26.
 - 鈴木達治郎、「核燃料サイクルの見直しは避けられない」、世界、2016年12月号、pp. 212-220.
- (3) 学会発表、報告書、雑誌・新聞寄稿等。
- “Nuclear Power in the 21st Century - Old Questions, New Insights -A View

From Japan,” European Association of Environmental and Resource Economics (EAERE) 2016, Zurich, Switzerland, June 25, 2016.

- Web Ronza 寄稿
 - 「核セキュリティサミットの読み方 (1) : 成果も上がったが、未解決の課題も」、2016年4月7日。
 - 「核セキュリティサミットの読み方 (2) : 日本の再処理に集まる厳しいまなざし」、2016年4月8日。
 - 「オバマ広島訪問への期待：核抑止に依存しない安全保障政策への第一歩を踏み出して欲しい」、2016年5月17日。
 - 「「核の脅威」の増大にどう対処すべきか：「オバマ」後の核戦略をめぐるドイツ国際会議で示された視点」、2016年6月29日。
 - 「最新報告書「世界の原子力産業 2016」を読む：中国の躍進、フランスの衰退、先進国から新興国への構造改革が進んでいる」、2016年7月22日。
 - 「21世紀の「ゴジラ」のすごさと物足りなさ：初代ゴジラは「反核」と「科学者の社会的責任」を見事に描き切っていた」、2016年8月10日。
 - 「北朝鮮の核の脅威にどう対処すべきか：北東アジア6カ国で信頼外交を進めよ」、2016年9月20日。
 - 「「もんじゅ廃炉」にみる原子力政策の矛盾：原型炉に失敗したのに、なぜ実証炉ができるのか」、2016年12月26日。
 - 「廃炉措置機関の創設で国が責任を持つ体制に変えよ：福島事故6年目、ガバナンスの根本改革にとりかかるときだ」、2017年3月10日。
 - 「最後の砦は個々の良心；軍事か民生か区別困難」、朝日新聞、2016年9月6日（夕刊）。
 - 「核燃料サイクルの見直しが必要」、エネルギーフォーラム、2016年10月号。
 - 「もんじゅ廃炉へ（下）；核燃料の再処理は中止を」、日本経済新聞「経済教室」、2016年11月8日。
 - 「被曝国としての矜持を」、共同通信配信、信濃毎日新聞等多数、2016年11月29日。
 - 「もんじゅ廃炉と実用化計画の矛盾：再処理停止で数兆円の節約に」、週刊エコノミスト誌、2017年2月7日。
 - 「事故処理費用は50～70兆円になる恐れ」、日本経済研究センター報告書、2017年3月7日
- (4) その他（講演、会議発表など）
- “A Proposal for Northeast Asia Nuclear Weapon-Free Zone (NEA-NWFZ): Confidence Building and Regional Security without nuclear umbrella”, East Asia Foundation Seminar, Seoul, South Korea, April 14, 2016

- 「核問題と原子力政策の現状と課題：長崎から考える」、CRS 総合研究所講演会、2016年5月24日。
- 「オバマ米大統領広島訪問の意義と課題」、NHK「視点・論点」出演、2016年6月9日。
- “Implications of nuclear weapons for regional security: In case for Japan,” Berlin Conference on Asian Security 2016, June 19-21, 2016.
- “Restoring Public Trust in Nuclear Energy and Non-Proliferation Policy - A perspective from Japan-,” Global Nexus Initiative, Washington DC, June 28, 2016.
- 「日本は核のジレンマを超えられるか：核抑止依存とプルトニウム問題からの脱却」、朝日新聞主催国際平和シンポジウム、「核兵器廃絶への道～オバマ時代から未来へ～」、2016年7月30日、長崎。
- “Nuclear Non-Proliferation Challenges 2016: What we see and What we do: A Japanese Perspective,” 2016 NEREC Conference on Nuclear Nonproliferation, “Promoting Nuclear Nonproliferation”, Seoul, South Korea, August 4-5, 2016
- “Nexus of Technology and Policy in Nuclear Nonproliferation- Managing Risk of Fissile Materials –“, 2016 NEREC Conference on Nuclear Nonproliferation, “Promoting Nuclear Nonproliferation”, Seoul, South Korea, August 4-5, 2016.
- 「核兵器廃絶にむけてー現状と課題ー」、山口ピースフォーラム、2016年8月19日。
- “Five Years After: Nuclear Energy Policy Issues in Post-Fukushima Nuclear Accident era”, Asia Leadership Fellowship Program (AFLP) Seminar, Tokyo, September, 9, 2016.
- “Overcoming Nuclear Dilemma: A Proposal for Northeast Asia Nuclear Weapon-Free Zone (NEA-NWFZ)”, Ritsumeikan RENKEI PAX SCHOOL, Nagasaki, Japan, September 16, 2016.
- 「核燃料サイクル見直しを」、朝日新聞「耕論：もんじゅ、廃炉の先は 鈴木達治郎さん、遠藤哲也さん、橘川武郎さん」、2016年9月24日。
- “Legal Framework of Nuclear Emergency Response in Japan”, SSTSEEDER WORKSHOP, Shanghai, China, October 22, 2016.
- 「「もんじゅ」廃炉と核燃サイクルの見直し」、NHK「視点・論点」出演、2016年10月24日。
- “Five Years After: Nuclear Energy Policy Issues in Post-Fukushima Nuclear Accident era”, RSIS Roundtable at the Singapore International

Energy Week (SIEW), “Nuclear Safety and Cooperation in Southeast Asia”, October 28, 2016.

- “Overcoming Nuclear Dilemma: A Proposal for Northeast Asia Nuclear Weapon-Free Zone (NEA-NWFZ)”, Ulaanbaatar Process/GPAC meeting, Ulaanbaatar, November 14-16, 2016.
- 「3.11 以後の原子力政策の課題と展望」、関西学院大学特別演習「福島から原発を考える」、2016 年 11 月 26 日。
- 「プルトニウム問題と核燃料サイクルをめぐる課題—第三者機関による総合評価を実施せよ—」、朝日新聞論説委員勉強会、2016 年 11 月 28 日。
- 「原子力平和利用の担保について—その枠組みと科学者・技術者の社会的責任—」、日本学術会議 「安全保障と学術に関する検討委員会」、2016 年 12 月 16 日。
- 「3.11 以後の原子力政策の課題—「もんじゅ」廃炉と研究開発、核燃料サイクル/廃棄物、プルトニウム問題—」、早稲田大学「エネルギー特論」、2017 年 1 月 14 日。
- 「核兵器廃絶にむけて—現状と課題：日本の核のジレンマ—」、IPPNW 日本総会、2017 年 2 月 11 日。
- “Japan's Nuclear Fuel Cycle Challenges: A Dream or A Nightmare?”, Tokyo Institute of Technology 3S (Security, Safety and Safeguards) Symposium, February 14, 2017
- 「日本のプルトニウム政策と日米関係：核不拡散と協力の両立をめざして」、国際シンポジウム「日米原子力協定と日本のプルトニウム政策」、東京、2017 年 2 月 23—24 日。
- 「3.11 以後の原子力政策の課題と展望」、東日本大震災学術調査研究会、2017 年 2 月 27 日。
- 「最近の核情勢と核兵器禁止条約プロセス」、PNND 日本総会、2017 年 2 月 28 日。
- 「日本のプルトニウム政策について」、河野太郎議員勉強会（火曜会）、2017 年 2 月 28 日。
- 「日本のプルトニウム政策：最新情勢と今後に向けての提言」、新外交イニシアティブ シンポジウム、2017 年 2 月 28 日。
- “Six Years after Fukushima: The Economics of Nuclear Disaster,” The Future of Nuclear Energy in the Middle East, IPFM-AUB Workshop, Beirut, March 14-15, 2017.
- 「3.11 から 6 年目：原子力政策の課題」、構想日本フォーラム、2017 年 3 月 22 日。

- “Six Years after Fukushima: The Economics of Nuclear Disaster”, UCS Summer Symposium on Science and World Affairs, OZO Wesley Hotel, Hong Kong, March 28-30, 2017.

III. 地域貢献

(1) 地域活動

- 「北東アジア非核化にむけて - 『ナガサキ・プロセス』の構築 -」、長崎核兵器廃絶市民講座、2016年6月4日。
- 「今日の核廃絶をめぐる情勢」、非核の政府を求める長崎県民の会、2016年7月22日。

(2) 外部委員

- 日本経済研究センター 特任研究員。
- パグウォッシュ会議評議員。日本パグウォッシュ会議代表。
- 日本科学技術振興機構社会技術研究センター 運営評価委員会（座長）。
- 平和首長会議実行委員会委員。
- 長崎市「平和の誓い」選定審査委員会委員。

IV. 校務分掌

- 教育研究評議会委員
- 研究連絡調整会議委員
- 人事委員会委員